

カミノトピックス

そうだ、〇〇に行こう…

今回、『株式会社ノース・スター・トラベル イオン札幌西岡店』様をご紹介します。

本社は千歳市千代田町で、一般向け旅行カウンターとして2010年5月イオン札幌西岡店のグランドオープンと同時に出店されました。

業務内容について、店長の村本篤子さんにお話を伺いました。

「来店されるお客様は地元の方が多く、オープン当初は土地柄を考えるとシルバー層が多いのでは？と予測していましたが、実際はヤングファミリー層が多く、旅行の1番人気はやはりディズニーワールド。これから春休みもあり、桜の見られる関西方面や九州・沖縄も人気があります。当社の強みは国内・国外に係わらずいろいろな旅行会社の商品や航空会社を扱っています。同じ旅行先でも、A社は手配が付かなくてもB社、C社なら手配が付くこともあります。私たちがお客様に対して、親切丁寧は当たり前。対面営業として、いかにお客様の希望を聞きだし、その希望をかなえる為徹底的に商品を探し出す。スタッフ全員がその姿勢を持って対応しています。」

お話を伺い、店長の言葉一つ一つにプロ意識を感じました。

店内はオープンスペースに旅行パンフレットがたくさん陳列されており、私の取材中も、お買い物帰りの人、旅行を吟味している人等など、パンフレットを手にとっていました。

雪も解けて暖かくなってくると、どこか遠くに行きたいなって思いますよね。

桜満開の京都嵐山、一足先に夏を Enjoy 沖縄、たこ焼きにお好み焼き etc のおいしいもの食べ歩き大阪。想像するだけでもワクワクします。

旅行をお考えの方は、ぜひ『ノース・スター・トラベル』様でご相談してみたいはいかがでしょうか。

旅行先でいろいろな事が待っているかもしれませんよ。 (談：SINKA・兼澤)



札幌市豊平区
西岡三条 3-4-1
イオン札幌西岡SC・1F



パンフレットを見ているだけでも旅行している気分…
行ってみたい所がいっぱいです

訓示を行動に…

「鬼十訓」

- 一、仕事は自ら創るべきもので人から与えられるべきものではない
- 一、仕事とは先手先手と働きかけて行く事で受け身でやるものではない
- 一、大きな仕事に取り組み小さな仕事は己を小さくする
- 一、難しい仕事を狙え、そしてそれを成し遂げる処に進歩がある
- 一、取り組んだら離すな殺されても離すな目的完遂までは
- 一、周囲を引きずり廻せ引きずると引きずられるのでは長い間に天地の開き出来る
- 一、計画を持って長期の計画を持っていれば忍耐と工夫とそして正しい努力と希望が生まれる
- 一、自信を持って自信が無いから君の仕事には迫力も粘りもそして厚みすらない
- 一、頭は常に全回転八方気を配って一分の隙もあってはならぬサービスとはその様なものだ
- 一、摩擦を恐れるな摩擦は進歩の母積極の肥料でないと君は卑屈未練となる



これは、ある商社の伝統ある訓示ということです。

当社にも「CS心得七か条」があり毎朝礼で唱和しております。

なかなか行動で示すことが出来なく歯がゆい思いをする時もありますが、これからは七か条の他に上記十訓にも気をつけながら日々の活動に取り組んで参りますので、今後も宜しくお願いします。 (談：神野(幹))

改善することで、改革あり

2月23日(水)・千歳アルカディア・プラザで『「改善事例セミナー&実践ソリューションフェア」～お悩みをすっきり解決～セミナー』を、今回は、経営層の方・経理担当者に対象のセミナーをメインに開催しました。年度末を目前にしたお忙しい中、19社のお客様に参加いただきました。誠にありがとうございます。

私も、セミナー「コストをかけずに今日からできる コスト削減実践セミナー」にお客様と一緒に参加しました。今回参加できなかった方に、多少なりとも参考になればと内容をご紹介します。

これは、コピー機・情報ソリューションのメーカー「リコージャパン札幌」での実践を紹介したもので、<コスト削減>への取り組みは、途中で頓挫したり、短期で終わらないように「がまんの禁止・仕事のやり方を変える」など、社員の負担を少なくするが大事であり、不景気だからこそ「今までの体質を変える良いチャンス」ととらえていかなければといった内容です。

活動のキーポイントとして「見える化」「継続」ということを実践し、具体例として、車両削減では、243台の稼働率を把握するため、全台の稼働時間・使用者を分析し、稼働時間の少ない車両を特定し、1人1台という今までの体質を変え、カーシェアリングを導入し216台になったことの、成果を社員で確認し合う。残業時間の短縮では、早帰りデーを週に2回を徹底周知し、社員意識を変革させた取り組みが紹介されていました。

そして、コスト削減した分、TV会議システムを導入し全道より集まる従来の会議を変えて、活動を継続するなど社員に「見える化」し「継続」しているのです。

皆様はもう様々なことを活動・実践されていると思いますが、今回ご紹介したのはほんの一例ですので、他社の取り組みに興味・関心などありましたら、お役に立つ事例紹介が出来るかと思っておりますので、是非、担当営業までご相談ください。(談：SINKA・後藤)



災害が起きたときのために・・・

地震、台風、火山噴火、雪害など、私たちの周りでは、予期しない災害が発生しています。

今年に入り、日本では鹿児島県・新燃岳の噴火、ニュージーランド・クライスチャーチの大地震など、多くの被害が報告されています。

このような突如の災害に冷静かつ適切に対処するための「防災体験研修」を、去る2月10日(木)に「そなえ～る」で実施しました。

最初に、地震体験と煙非難体験を行いました。平成7年に発生した阪神・淡路大震災の実際の揺れを体感し、その恐ろしさを目の当たりにしました。

また、ホテルやマンションに実際に設置されている救助袋や非難はしごを使った非難体験を何人かが代表して行いましたが、高さ3～4メートルでも勇気があるもので、尻込みする人が多い中、社長自らが体験を買って出て拍手を浴びました。

その後、研修室に戻り会社付近の地図を使っての図上避難訓練を行いました。通い慣れている道路や建物でも、意外と解っていないことに気づきました。

研修には、千歳市総務部危機管理課の近藤防災係長にご出席いただき、諸種の説明をいただきましたが、弁舌さわやかな解りやすい説明で、「防災」の大切さを改めて実感したひとときでした。

災害はいつどこで起こるかわかりません。まだ防災体験をされていない方は、ぜひ一度体感してみてください。



地震体験コーナー
あまりの衝撃にグッター



煙避難体験コーナー
無事に避難できてホッ



避難器具体験コーナー
始めからドキドキ、やはりスリルいっぱいでした



図上避難訓練
意外と分からないものです

2011年2月28日 VOL.68

発行元：(株)カミノ

TEL：0123-23-4255 / FAX：0123-24-1381

e-mail：kamino@rose.ocn.ne.jp

暦では3月は春でも、まだまだ寒い日もあります。

体には充分気をつけていかなければ・・・。

別れと出会いの3、4月、どんなことが待っているのでしょうか。

気分も天候を暖かくな～れ。